



# ネット香川「EMC研究会」の御案内

## ◇低周波エミッションおよび車両・車載機器のEMC規格◇

(公財)かがわ産業支援財団が設置する「かがわ EMC 技術研究会」では、令和4年度の「EMC 研究会」を下記のとおり実施いたします。今回は、株式会社エヌエフ回路設計ブロックの佐藤 公治氏をお招きして、「低周波 EMC エミッション規格の解説」について、また、菊水電子工業株式会社の野尻 操氏をお招きして、「車両および車載機器のEMC規格の最新動向」について、ご講演いただくとともに、「かがわ EMC 技術研究会」の古賀会長から、電磁波理論の基礎を平易に解説する予定です。

電気・電子機器の設計や EMC に関する対策・評価をご担当されているエンジニアの方々に大変御参考になる内容となっておりますので、多数の皆様のご参加をお待ちしております。

- **開催日時** 令和4年7月15日(金) 13:30～16:20
- **会場** 香川県産業技術センター 本館3階「研修室」  
〒761-8031 高松市郷東町 587-1
- **主催** かがわ EMC 技術研究会
- **参加方法** 会場に来場(定員 35 名)又はオンライン(Webex)での参加
- **申込方法** 申込票に必要事項をご記入の上、Eメール又は FAX でお申し込みください。
- **対象** 一般 ■ **参加費** 無料
- **プログラム**

開会の挨拶		
13:30～13:40	・開会の挨拶 かがわ EMC 技術研究会会長 岡山大学名誉教授 古賀 隆治 氏 ・かがわ EMC 技術研究会 総会	
小講演		
13:40～14:00	(概要)「電子機器からの電磁界放射をモデル化する」 電子機器から電磁界が放射されるプロセスを大雑把に説明する。電子機器の一部に高周波の電磁エネルギーが蓄えられると、強い電磁界が発生し、その一部が放射電磁界と結合して EMI を生ずる。これはアンテナの動作原理と同じである。	EMC 技術研究会会長 岡山大学名誉教授 古賀 隆治 氏
講演		
14:00～15:00	(概要)「低周波 EMC エミッション規格の解説」 EMC(電磁両立性)規格は、さまざまな分野の製品規格に引用され、機器の開発においては重要なテーマです。今回は、エミッションの代表的な規格である IEC61000-3-2、IEC61000-3-3 について解説します。	株式会社エヌエフ回路設計ブロック 市場開発営業部 佐藤 公治 氏
15:00～15:20	休憩	
15:20～16:20	(概要)「車両および車載機器の EMC 規格の最新動向」 モビリティの電動化により要求される EMC 規格について、ISO7637-2,-3,-4 規格の最新動向、規格の変更点解説に加え、入手したての情報もお伝えいたします。	菊水電子工業株式会社 ソリューション推進部 エグゼクティブエキスパート 野尻 操 氏

※新型コロナウイルス感染防止のため、発熱、風邪症状のある方の参加はお控えいただきます。

**主催:** かがわ EMC 技術研究会(事務局:公益財団法人かがわ産業支援財団)  
**後援:** 香川県 (会場:香川県産業技術センター)

# 「EMC研究会」申込書

提出期日：令和4年 7月 7日 (木)

## 記入者

企業・団体名 所属・役職	企業・団体名 所属・役職	
記入者氏名		TEL
		E-mail

## 参加者

所属・役職	氏 名 (オンライン参加の場合 E-mail アドレスも記入)	参加形態(希望の方に○)	
		会場 参加	オンライン 参加
	E-mail:		
	E-mail:		
	E-mail:		
	E-mail:		

お車での来訪の場合 台数：

備考：オンライン参加の方には別途 E-mail にて接続方法を連絡します。

■ 開催会場ご案内 (矢印：香川県産業技術センター)



〒761-8031 高松市郷東町 587-1  
TEL : 087-881-3175

【高松空港から】  
タクシーでは 50 分、リムジンバス (JR 高松駅まで) 50 分

【車の場合】  
高松西 I.C (松山、高知、岡山方面) 又は高松檀紙 I.C (徳島方面) から、車で 15 分

【JR 高松駅から】  
タクシーでは 10 分、バスでは、ことடன்バス・イオン高松線の警察学校前にて下車⇒徒歩 8 分

お申込み先: E-mail 又は FAX にて  
公益財団法人かがわ産業支援財団 総務部施設管理課 平田、村井 行  
E-mail next@kagawa-isf.jp TEL 087-864-5311 FAX 087-864-5331

# イベント開催時のチェックリスト

## 開催概要

電気・電子機器の設計エンジニア対策・評価を担当されている技術者に、EMCに関する情報を提供します。

## イベント名

ネクスト香川「EMC研究会」

## 講演者 参加者

講演者：かがわEMC技術研究会会長 古賀 隆治氏  
株式会社エヌエフ回路設計ブロック 佐藤 公治氏 ほか

参加者：県内外企業、研究機関など

## 開催日時

令和 4年 7月 15日（金） 13：30～16：20

## 開催会場

香川産業技術センター 本館3階 研修室

## 会場所在地

香川県高松市郷東町 587-1

## 主催者

かがわEMC技術研究会  
公益財団法人かがわ産業支援財団（総務部）

## 主催者 所在地

香川県高松市林町2217-16

## 主催者 連絡先

（電話番号）  
087-864-5311

（メールアドレス）  
next@kagawa-isf.jp

## 収容率 （上限）

100%（※）  
（大声なし）  人と人が触れ合わない  
程度の間隔

50%（※）  
（大声あり）  十分な人と人との間隔  
（できるだけ2m、最低1m）

## 収容人数

80人

## 参加人数

35人

## その他 特記事項

講演形式であり、質疑応答の場面を設定している。また、1机に1座席を基本として出席者の間隔を確保している。

（※）このセミナーは、国の所管省庁と連携の上定められた「カンファレンス開催ガイドライン」（公益社団法人日本青年会議所策定）に沿って実施します。

# 感染防止策チェックリスト

## 基本的な感染防止

イベント開催時には、下記の項目（イベント開催時の必要な感染防止策）を満たすことが必要です。

※5,000人かつ収容率50%超のイベント開催時には、個別のイベントごとの具体的な対策を記載した「感染防止安全計画」の提出が必要です。

### ①飛沫の抑制（マスク着用や大声を出さないこと）の徹底



【大声なしの場合】  
飛沫が発生するおそれのある行為を抑制するため、適切なマスク（品質の確かな、できれば不織布）の正しい着用や大声（※）を出さないことを周知・徹底し、そうした行為をする者がいた場合には、個別に注意、退場処分等の措置を講じる。

（※）大声の定義を「観客等が、①通常よりも大きな声量で、②反復・継続的に声を発すること」とする。

【大声ありの場合】  
「大声なしの場合」の「大声」を「常時大声を出す行為」と読み替える。

### ②手洗、手指・施設消毒の徹底



こまめな手洗や手指消毒の徹底を促す（会場出入口等へのアルコール等の手指消毒液の設置や場内アナウンス等の実施。）。



主催者側による施設内（出入口、トイレ、共用部等）の定期的かつこまめな消毒の実施。

### ③換気の徹底



法令を遵守した空調設備の設置による常時換気又はこまめな換気（1時間に2回以上・1回に5分間以上等）の徹底。

### ④来場者間の密集回避



入退場時の密集を回避するための措置（入場ゲートの増設や時間差入退場等）の実施。



休憩時間や待合場所での密集も回避するための人員配置や動線確保等の体制構築。



大声を伴わない場合には、人と人とが触れ合わない間隔、大声を伴う可能性のあるイベントは、前後左右の座席との身体的距離の確保

# 感染防止策チェックリスト

## ⑤ 飲食の制限

- 飲食時の感染防止策（飲食店に求められる感染防止策等を踏まえた十分な対策）の徹底。
- 飲食中以外のマスク着用の推奨。
- 長時間マスクを外す飲食は、隣席への飛沫感染のリスクを高めるため、可能な限り、飲食専用エリア以外（例：観客席等）は自粛。
- 自治体等の要請に従った飲食・酒類提供の可否判断（提供する場合には飲酒に伴う大声等を防ぐ対策を検討。）。

## ⑥ 出演者等の感染対策

- 有症状者（発熱又は風邪等の症状を呈する者）は出演・練習を控えるなど日常から出演者やスタッフ等の健康管理を徹底する。
- 練習時等、イベント開催前も含め、声を発出する出演者やスタッフ等の関係者間での感染リスクに対処する。
- 出演者やスタッフ等と観客がイベント前後・休憩時間等に接触しないよう確実な措置を講じる（誘導スタッフ等必要な場合を除く。）。

## ⑦ 参加者の把握・管理等

- チケット購入時又は入場時の連絡先確認やアプリ等を活用した参加者の把握。
- 入場時の検温、有症状（発熱又は風邪等の症状）等を理由に入場できなかった際の払戻し措置等により、有症状者の入場を確実に防止。
- 時差入退場の実施や直行・直帰の呼びかけ等イベント前後の感染防止の注意喚起。